

◆◆◆ 山田 政幸 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 国道58号線海岸線沿いの歩道から望む景観について ◆◆◆

質 国道58号線沿岸部分の定期的な伐採作業を、国道事務所などの関係機関へ要請、または村の事業で対応できないか。

答 商工観光課長 山田俊幸

北部国道事務所、恩納村、観光協会3者でボランティアサポート・プログラム協定書締結に向けて進めているところです。実施内容は、国道58号名嘉真から山田付近の歩道、植樹帯の美化活動作業を予定しております。沿岸部法面の雑木伐採作業も今後、国道事務

所、関係機関と連携し考えているところですが、村の事業については補助事業等のメニューの確認作業を行って、実施に向けて検討していきたい。



国道58号沿道

◆◆◆ 村道喜瀬武原11号線道路整備事業について ◆◆◆

質 前年度から着工されており、地域の期待も大きく、早期の完成が望まれているが工事の進捗状況を伺う。

答 建設課長 崎山 敦

平成30年度に喜瀬武原側の300メートルの工事を実施いたしました。進捗率は、事業費ベースで40%です。令和元年の工事については、追加議案を出して工事の着

工となります。

◆◆◆ 施政方針について ◆◆◆

質 去年、定住促進係を立ち上げ、「村内居住環境の実態把握や居住環境に係る村民及び事業者などの意向調査を行う。」と述べておりますが、どのような調査をしているのか。

答 企画課長 山城雅人

各区長等に居住環境、空き家に関するヒアリングを行い、まとめている。また村民全世帯に定住促進に関するアンケートを行い、あわせて村内企業へ社員寮などの需要供給調査をするほか、従業員等、関係者へ本村に定住する意向などについても調査し、今後はヒアリング等、アンケート結果を踏まえて住宅供給計画を進めたい。

◆◆◆ 中学校統合に伴う空き教室の活性化について ◆◆◆

質 校外に立地する安富祖幼稚園は、小中学校職員室及び校長室からも遠く死角になっており、防犯や防災上不安視されています。園児の安全を確保するためにも中学校統合に伴う空き教室を活



安富祖校と幼稚園

用して、校内に幼稚園を移設できないか。

答 学校教育課長 石川 司

安富祖の幼稚園においては、学校施設との間に里道が一本入っていて、何かあったとき、学校現場の先生方がすぐに対応できる状況ではないということで、教育委員会でも検討しているところです。中学校統合後は空き教室の活用や、学校施設内への移設、もしくは幼稚園の裏手、旧保育所跡地も園庭のスペースにできるのであれば、関係課等とも協議をし、里道をつけかえて、学校を一つの敷地内に納める方法を検討していければと思っています。

◆◆◆ 佐渡山 明 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 地元産品の奨励と地元企業の優先使用について ◆◆◆

質 村商工会からは、役場庁舎内や村出先機関で使用する物品な

どは、地元の産品や地元企業を優先していただきたい。旨の要請が毎年のように上がっておりますが、前年と比較して今年度はどうなっているのか。

答 総務課長 新里勝弘

大まかに言って横ばい状態だと思います。消耗品に関しては業者が休業したことで、若干下がってきているのではないかと感じております。

質 給食費における村産品の利用状況を教えてください。

答 学校教育課長 石川 司

安富祖米は年間9.1t、アースが10t、モスクが約17t使用されています。また給食で使っている1/3の鶏肉は村のプロイラーを使用しています。その他、味噌や卵、パイヤ、ピーマン、トウガン、キュウリ、トマト、ニガウリ等を使っています。

質 村民にも地元産品の優先使用を図っていただきたいが、どのように周知されているのか。

答 商工観光課長 山田俊幸

村中小企業者・小規模企業・振興基本条例を制定しました。その中で村民の理解と協力があがり、村産品等の利活用が明記されております。昨年度の広報9月号に

おいて周知しております。

質 村内の大型ホテル、大学院大学に対し、地元企業の優先利用、村民の就職先、雇用を含めた毎年のように陳情がある案件、去年よりも今年とよい方向に進んでいるのか教えてください。

答 商工観光課長 山田俊幸

村内の雇用率というの出ているが、しっかりと見きわめて、今後も雇用については村内事業所、ホテル等に、しっかりと図っていくたい。

◆◆◆ 地元企業の育成と特産品・土産品について ◆◆◆

質 村で収穫した材料を使い、製造地も恩納村というような、村を挙げて、村に特化したお土産、商品開発に取り組んでいただきたい。

答 商工観光課長 山田俊幸

恩納村地域開発支援事業として、主体を恩納村、事務局を村商工会が担い実施している。特産物を活用し高付加価値食品を開発し、地域活性化に資することが目的となっております。お菓子類もけたらと考えています。

質 観光の統計資料で沖縄県入域観光客数は伸びていますが、比例してお土産の売り上げは伸びていない。県の調査でお土産を買わない理由は「沖縄らしいお土産が少ないから買わなくなった」、「同じものが多く」ということでもあります。では、どうすれば買ってくれるのかと聞いてみました。すると、地域限定品、新しいお土産、沖縄らしいお土産であります。県内でも多くの観光客が訪れる恩納村。村にはそのような商品売って行く環境がどこよりも大きいと考えております。そこでデザイン性に優れたお土産がたくさんある村になっていただきたく、この質問をいたしております。

答 村長 長浜善巳

拠点産地品目も全部で8品目。恩納村では指定されております。そういった産物を使って特産品と地域限定品の新たな2次産業といたしますか、加工品を今後は積極的に進めるべきではないかと思っております。